

【春日部市立 小湊小学校】



新たな森の動物調査隊

—身近な自然の観察・生物と環境を学ぶプログラム—



開園に向け整備を進めている「(仮称) 新たな森公園」内には、春日部市内の小学生たちがどんぐりから苗木を育て、令和元年 5 月に植樹をしたエリアがあります。今回は、その森づくりに協力してくれている小学生 52 名を対象に「動物調査」をテーマとしたプログラムを開催！公園に生息する哺乳類の痕跡（フンや足あと）を探しました。次々見つかる痕跡に、子どもたちは終始大はしゃぎ！ さらに、前日にスタッフが仕掛けた自動撮影カメラの撮影成果もみんなを確認。タヌキやイタチ、キジを画像で見ることができ、「こんなに動物がいるなんて知らなかった！」と、身近な自然や公園の魅力を手感的に知ってもらうことができました。

【日時】 令和 2 年 2 月 7 日（金曜日） 9 時 30 分～11 時 30 分

【場所】 (仮称) 新たな森公園（春日部市下大增新田地内）

【参加者数】 計 52 名（2 年生児童 49 名、教員 3 名）

【協力】 春日部市立小湊小学校

【主催】 新たな森づくり協議会準備会

【企画・運営】 特定非営利活動法人 NPO birth

【当日の様子】



自然の魅力伝えるレンジャーがご案内。まずは周辺環境を 360°ビューの築山頂上から確認。

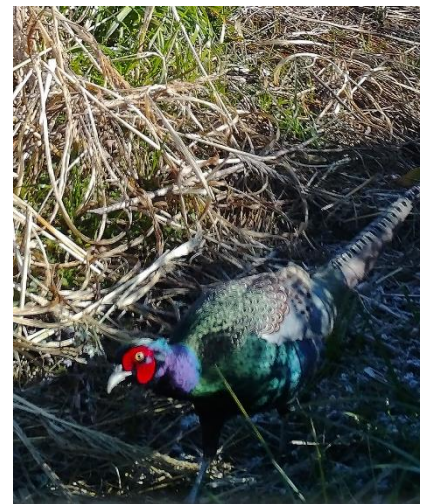
園内には草地や池があり、周りは田んぼに囲まれていることがわかりました！



池の岸部を覗くと、イタチの足跡を発見！広場ではキツネのフンも見つけました。



園内には自動撮影カメラを事前に設置。どんな動物が映っているかな？
プログラムの最後にみんなで成果を確認しました。



撮影できた哺乳類は、タヌキ（左）、イタチ（中央）。野鳥のキジ（右）も写っていました。
野生の動物たちがたくさん暮らす、生きもの豊かな場所であることがわかりました！